

エコアクション21  
環境経営レポート



活動期間 2023年 9月 1日～2024年 8月31日

作成日 2024年11月7日



株式会社 長沢電機

## 【 目 次 】

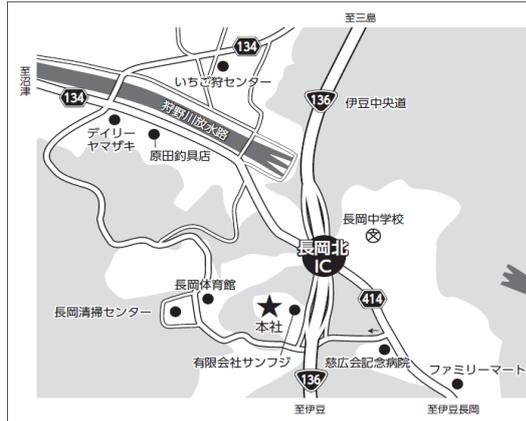
1. 事業の概要と対象範囲	1
2. 環境経営方針	2
3. 環境経営システム実施体制図	3
4. 環境目標と実績	4～11
4-1. 電力使用量	
4-2. ガソリン(軽油)使用量	
4-3. 二酸化炭素排出量	
4-4. 廃棄物等総排出量	
4-5. 水使用量	
4-6. グリーン対象商品購入比率	
4-7. 省エネ提案見積	
4-8. 環境にやさしい施工	
4-9. 地域への社会貢献	
4-10. 作業効率の向上	
5. 環境活動の取り組み(成果と課題)	12～17
5-1. 活動計画・実施	
5-2. 採用活動	
5-3. 社員教育(作業効率の向上を目指して)	
5-4. 環境教育	
5-5. 環境活動	
6. 環境関連法規制の遵守状況	18
7. 代表者による評価と見直し	19

# 1. 事業の概要と対象範囲

## 事業概要

事業所名 株式会社長沢電機  
 代表者 代表取締役 長澤 大  
 所在地 本社/〒410-2214  
 静岡県伊豆の国市花坂305-5  
 TEL: 055-946-0909  
 FAX: 055-946-0910  
 URL: <http://www.e-appliance.co.jp>  
 MAIL: [info@e-appliance.co.jp](mailto:info@e-appliance.co.jp)

函南営業所/〒419-0125  
 静岡県田方郡函南町肥田411-1  
 TEL: 055-979-0909



資本金 2,000万円

沿革  
 昭和47年 9月 創業  
 昭和54年 4月 設立  
 平成3年 6月 函南町に社屋移転  
 平成20年10月 伊豆の国営業所 設立  
 平成23年 2月 エコアクション21 認証取得【登録番号 0006674】  
 平成25年 4月 パナソニック(株)エコソリューションズ社  
 リニューアルコンテスト2012 優秀賞受賞  
 平成26年 4月 大東建託(株)協力会 功績表彰  
 平成26年 5月 (一社)静岡県建設産業団体連合会 功績表彰  
 平成27年10月 パナソニック(株)中部電材営業部 商品賞受賞  
 平成28年 6月 パナソニック(株)エコソリューションズ社 EM工事会社 登録  
 平成28年10月 代表取締役 長澤 大 就任  
 平成30年 6月 大東建託(株)協力会 安全衛生功績表彰  
 令和元年 8月 特定建設業許可 更新  
 [静岡県知事許可(特-01)第011864号]  
 令和2年 9月 エコアクション21 登録・認証10年継続表彰  
 令和6年 1月 伊豆の国市に社屋移転(現 本社)  
 函南営業所 設立(旧本社)

事業内容 生活環境事業(居住・非居住分野)における電気設備の  
 トータルプロデュース、プランニング、設計、施工、メンテナンス

活動規模	単位	第44期	第45期	第46期
		R3.9.1~R4.8.31	R4.9.1~R5.8.31	R5.9.1~R6.8.31
売上高	百万円	508	720	855
従業員	人	38	39	38
床面積	m <sup>2</sup>	459.67	459.67	1361.35

有資格者数 1級施工管理技士 9名 1級施工管理技士補 2名  
 監理技術者 9名 第1種電気工事士 18名

管理担当者 環境管理責任者 鈴木 紫  
 環境管理連絡担当者 長澤 明子  
 三須 香澄

## 対象範囲

事業年度 第46期 令和5年 9月 1日~令和6年 8月31日

範囲 全社、全活動及び全従業員を対象とする

## 2. 環境経営方針

### 株式会社 長沢電機 環境経営方針

#### [ 基本理念 ]

株式会社長沢電機は、電気設備工事業に携わる事業所として地球環境に与える影響を認識し、人間と自然が調和する豊かな地球環境と限りある資源を後世に継承する為、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

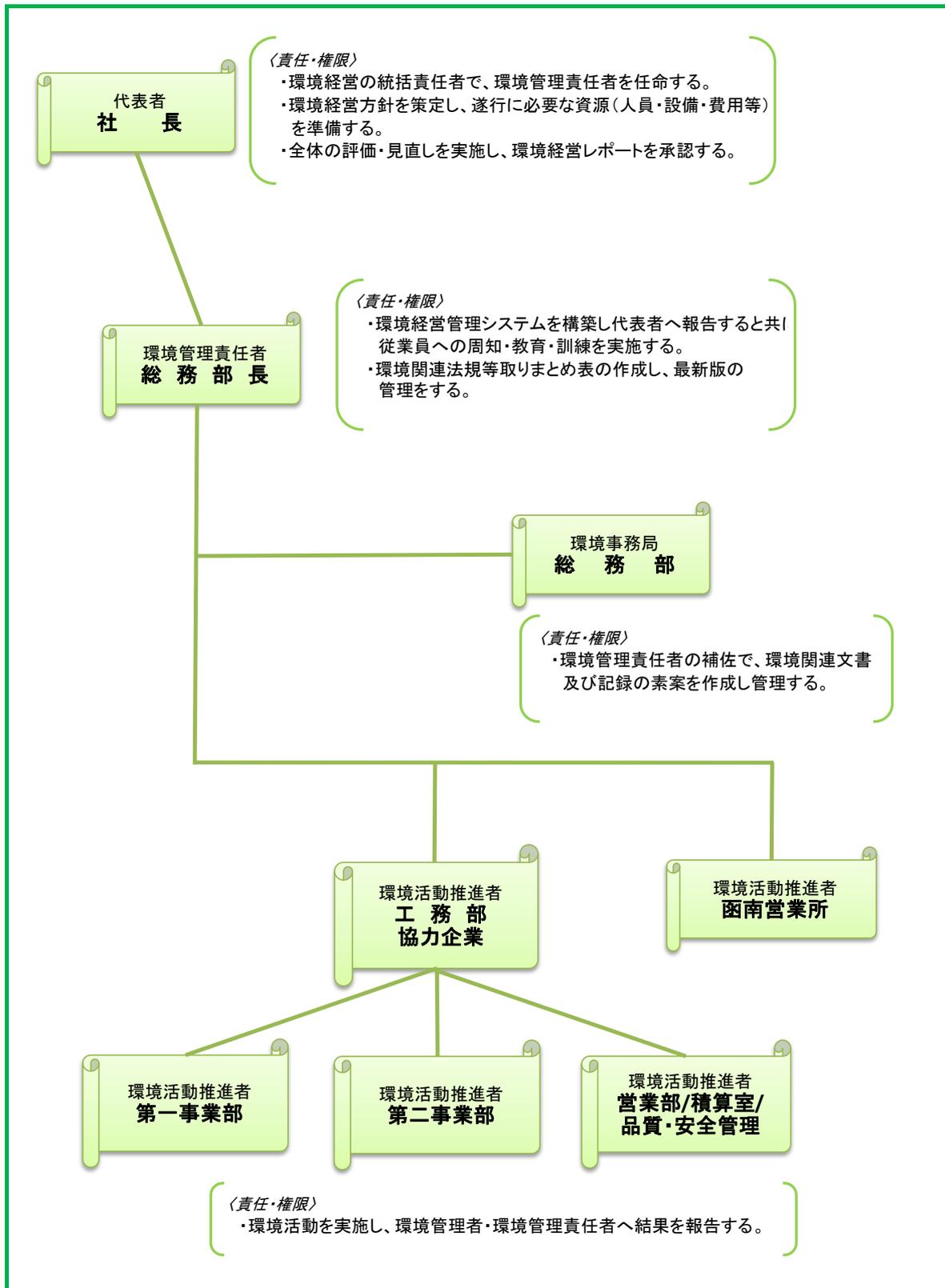
#### [ 行動指針 ]

1. 当社における事業活動が環境に与える影響を考え、環境経営システム【エコアクション21】を構築し、継続的な改善を行います。
  - ① 二酸化炭素排出量削減に伴う使用エネルギー（購入電力・化石燃料）の削減
  - ② 廃棄物の徹底分別による廃棄物排出量の削減・再資源化
  - ③ 節水による水使用量の削減
  - ④ グリーン購入の推進
  - ⑤ 環境に配慮した電気設備や技術商品（オール電化・太陽光発電・省エネ商品への切り替え等）の提案、推進
  - ⑥ 作業工程の見直しや新しい取り組みによる、作業効率の向上
2. 環境保全に関わる法規制等を遵守します。
3. 本方針を全社員に周知徹底し、全社員参画による取り組みを目指します。また環境レポートを社内外に公開し、社会とのよりよいコミュニケーションを実践します。

制定 平成22年 9月 1日  
株式会社 長沢電機  
代表取締役 長澤 大  
2019年 11月 1日更新

### 3. 環境経営システム実施体制図

認証・登録の範囲:組織全範囲



## 4.環境目標と実績

### 環境経営目標と実績

項目1.6は事務所移転したため一年分のデータが無いので、電力使用量と水使用量は移転後の1～3月の3ヶ月の数値から新基準値を算出しております。(2024年1月～3月の3ヶ月の数値)×4＝新基準値

項目4は直近3年の実績平均値の0.5%削減、1.2.3は直近3年の実績平均値の0.2%削減を目標としました。

項目6は直近3年の実績平均値の1%削減、項目8は直近3年の実勢平均値の3%上昇を目標としました。

また、9.10.11については具体的な目標数値の設定をせず活動のみとしました。

項目5は再資源化率90%を、項目7は対象商品購入比率30%をそれぞれ目標数値として設定しました。

\* 購入電力の排出係数については、平成30年度事業者別二酸化炭素排出係数(東京電力エナジーパートナー株式会社)の

実排出係数 0.468Kg-CO2 にて算出とします。

\* 化学物質の使用はありません。

\* LPGは使用量が少ないので、二酸化炭素排出量総量で見えています。

結果については、下記の基準にて表示しました。

○・・・目標達成

△・・・目標未達成 目標値 +2.5%未満

□・・・目標未達成 目標値 +2.5%以上 +5%未満

×・・・目標未達成 目標値 +5%以上

	単位	第43期	第44期	第45期	基準値 第43～45期 実績平均	新基準値	第46期 R5.9～R6.8		第47期	第48期	第49期
							目標	結果			
1. 電力使用量	kwh	35,053	38,696	38,782	37,510	59,440	目標 59,321 結果 58,310	○	-0.2%	-0.2%	-0.2%
2. ガソリン(軽油)使用量	リットル	18,685	20,153	22,816	20,551		目標 20,510 結果 19,954	○	-0.2%	-0.2%	-0.2%
3. 二酸化炭素排出量	Kg-CO2	60,228	65,403	71,752	65,794	76,051	目標 75,899 結果 73,937	○	-0.2%	-0.2%	-0.2%
4. 廃棄物等総排出量	t	50.8	39.6	110.2	66.9		目標 66.5 結果 69.5	□	-0.5%	-0.5%	-0.5%
5. 廃棄物再資源化率	%	84.1	88.1	94.2	88.8		目標 90.0 結果 89.5	△	90.0%	90.0%	90.0%
6. 水使用量	m <sup>3</sup>	143.5	123.0	136.0	134.2	138.0	目標 136.6 結果 156.0	×	-1.0%	-1.0%	-1.0%
7. グリーン対象商品 購入比率	%	36.2	33.9	37.1	-		目標 30.0 結果 41.3	○	30.0%	30.0%	30.0%
8. 省エネ提案見積	件	249	220	233	234		目標 241 結果 241	○	+3%	+3%	+3%
9. 環境にやさしい施工		・事前準備の徹底により効率的な施工 ・余剰材料の活用									
10. 地域への社会貢献		地域清掃の協力									
11. 作業効率の向上		作業工程の見直し、新しい取り組み									

## 4-1. 電力使用量

### 《取り組み内容》

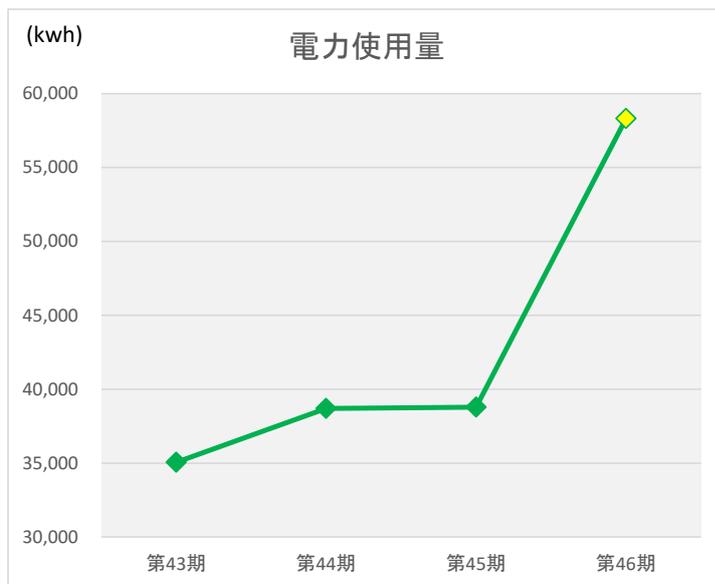
- ・エアコンの設定温度を夏27℃、冬24℃にする
- ・エアコンのフィルター清掃をこまめに行う
- ・スイッチオフによる照明、OA機器の電力削減
- ・ノー残業デーを設ける(毎週火曜日18:00で退社)

### 《電力使用量の削減》

(2024年1月～3月の数値) × 4 = 新基準値

	単位	第43期	第44期	第45期	新基準値	第46期 R5.9～R6.8		第47期	第48期	第49期
使用量	kwh	30,693	35,053	38,696	59,440	目標	59,321	○	-0.2%	-0.2%
						結果	58,310			

社屋移転のため、1～3月の3ヶ月の使用量から新基準値を算出し、そこに0.998をかけた数値を目標値といたしました。



エアコンフィルターの定期清掃の様子

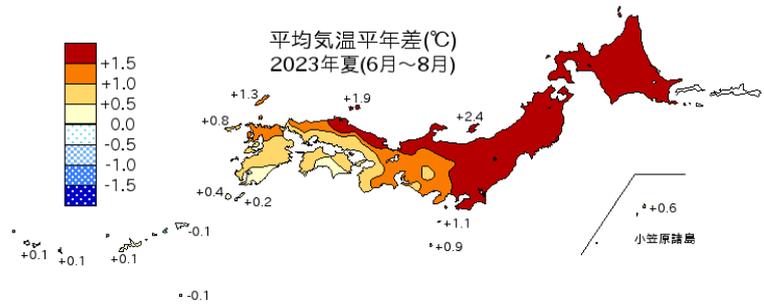
### 《46期 電力使用量の月別推移》

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
花坂本社	kwh	-	824	2,134	4,085	4,683	4,055	3,731	2,610	3,220	4,549	6,473	6,099	42,463
函南営業所	kwh	3,314	2,212	2,936	1,447	834	776	781	752	650	621	774	750	15,847
合計	kwh	3,314	3,036	5,070	5,532	5,517	4,831	4,512	3,362	3,870	5,170	7,247	6,849	58,310

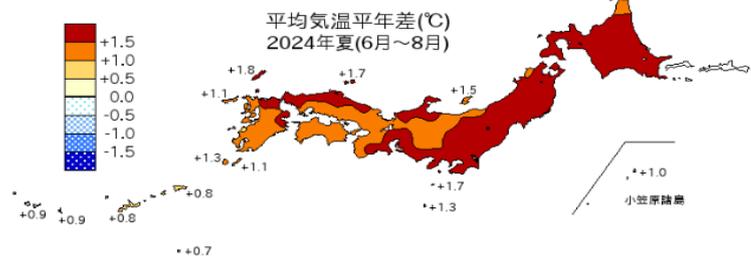
※函南営業所には第二駐車場使用量が含まれる

国土交通省の気温観測の統計によると、2024年の6～8月の日本の平均気温偏差は+1.76℃となり、1898年の統計開始以降で2023年と並び最も高くなった。

出典：気象庁ホームページ



平均気温平年差、降水量平年比、日照時間平年比の分布



「平均気温平年差(°C)」(気象庁ホームページより)

### 旧事務所と新事務所のエアコン設置個所の床面積(m<sup>2</sup>)

旧事務所	新事務所	差(新事務所-旧事務所)
306.45	595.68	+289.23

※旧事務所は3回建てのうち2階と3階のみエアコン有

### 《取り組みの評価》

新社屋への移転により床面積が1.94倍となり、前年以前との比較は難しいが、電力使用量はかなり増加した。前述の床面積増加に加え、天井も1.5倍ほどの高さになっている。  
データの通り、2024年の夏が2023年と同じ酷暑であったため、空調の利用が多かったことも電力使用量増加の原因の一つとして挙げられる。

### 《今後の取り組み》

1月に移転したことで今までの基準での比較は難しいが、46期の新基準値の目標は達成できたため47期も同じ目標基準値を利用する。その結果を鑑み、今後改めて適切な目標値を検討する。  
熱中症対策に考慮してエアコンの過度な使用制限は行わないが、気温の変化が激しい時期に限らず空調以外の節電を促していく。不要な電源OFFへの意識の向上等、社内啓発活動を継続していく。

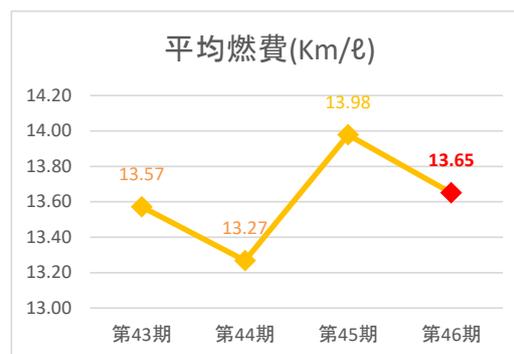
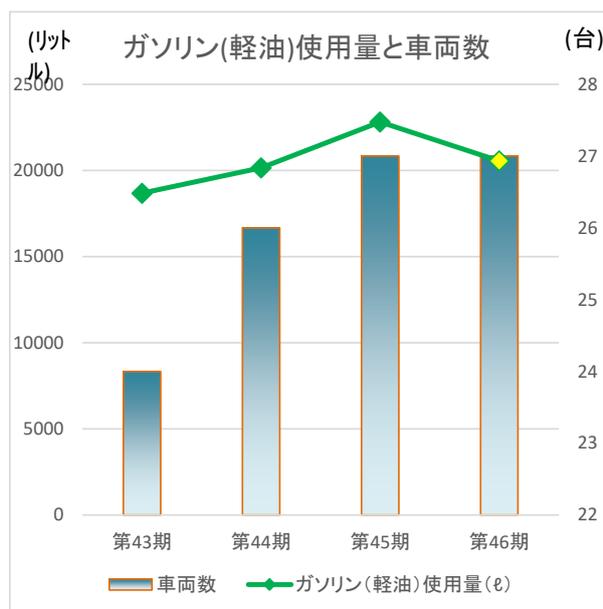
## 4-2. ガソリン・軽油使用量

### 《取り組み内容》

- ・車両の定期的な整備点検を行う(毎月末)
- ・急発進・急加速の禁止
- ・不必要なアイドリングの禁止

### 《ガソリン・軽油使用量の削減》

	単位	第43期	第44期	第45期	基準値 第43～ 45期 実績平均	第46期 R5.9～R6.8	第47期	第48期	第49期	
使用量	リットル	18,685	20,153	22,816	20,551	目標 20,510 結果 19,954	○	-0.2%	-0.2%	-0.2%



### 《ガソリン・軽油使用量の月別推移》

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
45期使用量	リットル	2,210	1,952	1,883	1,996	1,463	2,301	1,655	1,316	2,044	1,903	1,990	2,103	22,816
46期使用量	リットル	1,719	1,882	1,902	1,450	1,598	1,778	1,402	1,485	1,531	1,557	1,960	1,689	19,954

### 《取り組みの評価》

車両老朽化等により車両の入れ替えを4台行ったが、平均燃費が前期に比べ、2.3%悪化した。前期に比べると今期は走行距離が10.0%減り、ガソリン・軽油使用量も減少した。新たに車内の美化強化の一環として抜き打ちで点検を行った。

### 《今後の取り組み》

一台一台の燃費の悪化を防ぐため、パーツの摩耗などに特に気を付ける。また、環境に配慮し、燃費を意識した運転を引き続き行うように社員へ啓発していく。車両設備を徹底する。特にオイル交換や、定期点検(月1回)に気を付ける。毎月末に行っている点検報告を、46期までは紙媒体による提出にしていたが、来期より電子による提出に変更することにした。

### 4-3. 二酸化炭素排出量

#### 《取り組み内容》

- ・二酸化炭素排出量減少に繋がる取り組みを継続する
- ・電力量、ガソリン・軽油使用量を減らすための取り組みを積極的に行う

#### 《二酸化炭素排出量の減少》

	単位	第43期	第44期	第45期	新基準値	第46期 R5.9~R6.8		第47期	第48期	第49期	
						目 標	結 果				
排出量	Kg-CO2	60,228	65,403	71,752	76,051	75,899	73,937	○	-0.2%	-0.2%	-0.2%

#### 《取り組みの評価》

社屋移転に伴い、新基準値への見直しをした。その結果、目標達成できた。

#### 《今後の取り組み》

二酸化炭素排出の目安を示して、社員の意識向上を図る。  
電力使用量についての新基準値や目標値を社内アナウンスにて周知した上で、削減への取り組みを促す。

### 4-4. 廃棄物等総排出量

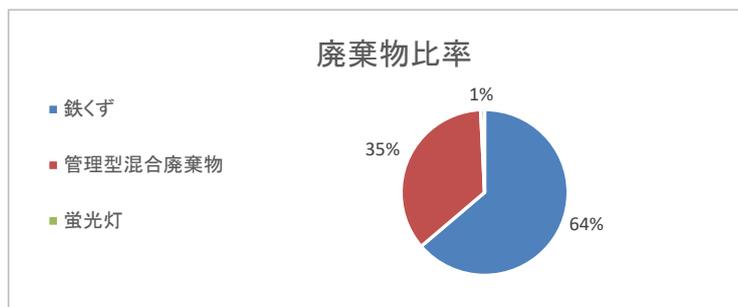
#### 《取り組み内容》

- ・ペーパーレス化を進め、書類をデータ保存をする
- ・コピー用紙の両面使用
- ・優良認定産廃処理業者と委託契約を更新する
- ・リサイクル品の分別回収の徹底



#### 《廃棄物排出量の削減・再資源化率の向上》

	単位	第43期	第44期	第45期	基準値 第43~ 45期 実績平均	第46期 R5.9~R6.8		第47期	第48期	第49期	
						目 標	結 果				
排出量	t	50.8	39.6	110.2	66.8	66.5	69.5	□	-0.5%	-0.5%	-0.5%
再資源化率	%	84.1	88.1	94.2	88.8	90.0	89.5	△	90.0%	90.0%	90.0%



#### 《取り組みの評価》

全体の廃棄物排出量はかなり減らすことができたが、目標達成はできなかった。  
混合廃棄物の量が多かったため、再資源化率の目標もわずかに達成できなかった。  
本社移転に伴い、生活ゴミの分別と排出方法が変更となった。

#### 《今後の取り組み》

混合廃棄物を再資源化できるように分別を継続する。  
法令等の改定により、廃棄物の排出方法が変更になった箇所があるため、社内の周知徹底に努める。  
紙の削減を目的として、今まで紙で提出していた社有車点検表を電子データで提出していく。

#### 4-5. 水使用量

##### 《取り組み内容》

- ・水を出しっぱなしにしない
- ・社用車洗車時の節水を心がける

##### 《水使用量の削減》

	単位	第43期	第44期	第45期	新基準値	第46期 R5.9～R6.8		第47期	第48期	第49期	
						目標	結果				
使用量	m <sup>3</sup>	143.5	123.0	136.0	138.0	136.6	156.0	×	-1.0%	-1.0%	-1.0%

社屋移転のため、1～3月の三か月の数値から新基準値を算出し、そこに0.998をかけた数値を目標値といたしました。

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
花坂本社	m <sup>3</sup>	-	-	-	10.0	9.5	9.5	11.5	11.5	12.0	12.0	11.0	11.0	98.0
函南営業所	m <sup>3</sup>	11.0	11.0	10.0	10.0	0.5	0.5	3.0	3.0	2.0	2.0	2.5	2.5	58.0
合計	m <sup>3</sup>	11.0	11.0	10.0	20.0	10.0	10.0	14.5	14.5	14.0	14.0	13.5	13.5	156.0

##### 《取り組みの評価》

前年に続き、目標の達成はできなかった。  
本社移転による生活ゴミの排出ルールの変更により、プラスチック容器の洗浄に伴う水使用量が増加したのも原因の一つである。

##### 《今後の取り組み》

今までの取り組みを継続し、社員の意識が常に保つように啓発を続ける。

#### 4-6. グリーン対象商品購入比率

##### 《取り組み内容》

- ・文房具のエコマーク商品の優先購入

##### 《グリーン対象商品購入比率の向上》

	単位	第43期	第44期	第45期	基準値 第43～ 45期 実績平均	第46期 R5.9～R6.8		第47期	第48期	第49期	
						目標	結果				
購入比率	%	36.2	33.9	37.1	-	30.0	41.3	○	30.0%	30.0%	30.0%

	単位	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	年間 比率
月別購入比率	%	49.7	30.7	36.4	17.1	56.1	87.4	69.8	33.7	23.7	54.7	56.3	32.4	41.3

##### 《取り組みの評価》

エコマーク商品を選択する意識は徹底している。グリーン対象商品購入比率による目標設定に変更し、43期から四期続いて目標達成することができた。

##### 《今後の取り組み》

エコマーク商品を選択できるよう、社員に引き続き促す。  
まとめ買いによる購入費削減や、現在使用している商品の見直しなどを継続する。

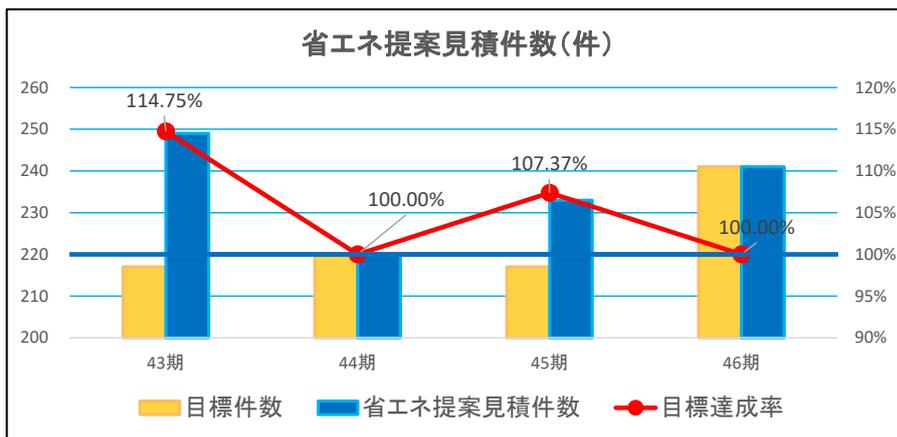
## 4-7. 省エネ提案見積

### 《取り組み内容》

- ・環境配慮型工事・商品のための情報収集
- ・省エネ見積の積極的な提案活動
- ・環境保護について啓発活動を行う

### 《省エネ提案見積件数》

	単位	第43期	第44期	第45期	基準値 第43～ 45期 実績平均	第46期 R5.9～R6.8			第47期	第48期	第49期
						目標	結果	達成率			
使用量	件	249	220	233	234	241	○	+3%	+3%	+3%	



### 《取り組みの評価》

お客様のLED化への意識向上もあり、今期も目標達成できた。  
また、新しい商品に対する情報収集も行っている。  
提出の際に具体的な内容を盛り込んだ提案書も添付する等工夫している。

### 《今後の取り組み》

蛍光灯、電球の生産終了に伴い、特にLEDのお客様ニーズは高まっているので、それぞれのお客様に合わせた提案を続ける。  
また、より省エネにつながる商品やシステムの情報を積極的に収集していきたい。

## 4-8.環境にやさしい施工

### 《取り組み内容》

- ・事前準備の徹底による効率的施工の実施
- ・余剰材料の活用

### 《取り組みの評価》

事前準備の徹底により効率的な作業を進める物件が増えた。  
倉庫内にある余剰となった材料の活用を積極的に行った。  
印刷物ではなくデータでの確認とスケジュール調整により効率化が進んでいる。  
iPadを活用し、図面をデータにて管理・確認する物件が増えた。

### 《今後の取り組み》

引き続き環境を意識した施工を心がけていく。  
施工方法の向上を目指し、技術習得・資格取得を促す。

## 4-9.地域への社会貢献

### 《取り組み内容》

- ・近隣地域の清掃
- ・地域商工会主催のまつりへの参加

### 《取り組みの評価》

清掃活動は定期的に行うことができた。  
地域のまつりは移転時期と重なったこともあり、参加を見合わせた。

### 《今後の取り組み》

新社屋への移転が完了し、現在の地域との  
関わり方については改めて模索していく。



## 4-10.作業効率の向上

### 《取り組み内容》

- ・工務社員全員に個人のパレットを用意
- ・フリーアドレス制導入・集中エリアの設置

### 《取り組みの評価》

工務社員全員に個人のパレットを用意したことで、自分の工具等が管理しやすくなった。  
新社屋は、フリーアドレス制を導入したことで、業務に応じて席を移動するなど自由かつ集中して  
作業しやすい空間となった。

### 《今後の取り組み》

個人パレットをより活用して、車載量を減らし、工事現場での作業をより円滑にしていく。  
事務所内の作業中も各社員が作業しやすいように備品の置き場や工事日報の管理などの改善を続ける。  
共有工具の管理体制を見直し、効率をあげると同時に整理や管理を徹底する。





### 5-3. 社員教育(作業効率の向上を目指して)

#### 《研修・資格取得フォロー》



新入社員対象の研修では、社会人としての心構えや業務作業のレクチャーを中心に実施した。

(令和6年4月1日～4月12日、令和6年5月21日～5月28日 実施)

入社2年目以降5年未満の社員に対しては、仕事に対する姿勢を改めて見直したり、情報や仕事の悩みを共有できる場として、フォローアップ研修を行った。

(令和6年6月14日 実施)

業務に必要な資格取得を目指す対象者に、資料や問題を渡し、試験対策を促したり、試験時期の案内をしたりなど、フォロー活動をしている。

#### 《パソコン活用術・ビジネスマナー活用術》

パソコン活用術 5月

今回はワードとエクセルに使える囲み文字についてです。  
このように丸や四角で囲む方法を紹介します。  
いくつか方法があるので是非ご覧ください。

株式会社 西沢園機

●サイト  
Word  
○「Word・ワード」文字を四角で囲む方法！文字単位・段落など4つのやり方！もりのくまのサクサクOffice (sakusaku-office.com)  
Excel  
○Excel (エクセル) で囲み文字を作成する4つの方法 (prou-pc.jp)

作業効率向上を目的として、excel等業務で使える活用術を作成し、2ヶ月に一回配信をしている。

社内アンケートで社員からの配信内容等の要望を聞き、それに沿った配信をした。

特に社員から要望のあったビジネスマナー等、パソコン業務外の内容についても配信している。

ビジネスマナー活用術 4月

今回はお祝い関係についてです。  
結婚式に招待される機会が日常に多いわけではないと思うので、招待された時のマナーについて不安に感じます。  
今一度確認してみてください。

●サイト  
○これさえ読めばOK！結婚式お呼ばれマナーの完璧ベシッ！ | 結婚ラジオ | 結婚スタイルマガジン (niwaka.com)

(招待状の返事)  
【結婚式招待状の返信マナー】出席・欠席する場合の返信メッセージ文例もご紹介 | ゼクシー (zexy.net)

(お祝い金)  
○「結婚式のご祝儀相場」いくら包めばいい？相手別・葬式のみ・運名など様々なケースを解説 | ゼクシー (zexy.net)  
○目見表で分かる結婚祝いの相場 | 恥をかかない！祝儀の金額を関係別に解説 - CUSTOMLIFE(カスタムライフ) (customlife-media.jp)

(結婚式服装)  
○【結婚式】男性ゲストの服装マナーとは？スーツ、ネクタイなどアイテム別に着こなし術をご紹介 | 結婚ラジオ | 結婚スタイルマガジン (niwaka.com)  
○【女性の服装マナー】結婚式お呼ばれのOK・NGって？年代別の服装やゲスト実例もご紹介 | 結婚ラジオ | 結婚スタイルマガジン (niwaka.com)

## 《電設工業展見学研修》

46期は新技術を学び知識を広げるため、電気設備に関する資機材、工具、計測器、ソフト、システム等の新製品紹介を始め、施工技術や施工実績、アカデミックの紹介、電気設備業界の魅力や働き方などが紹介される電気設備総合展示会『JECA FAIR 2024 第72回電設工業展』の視察を行った。

作業状況を考慮して、開催の3日間に班ごとに分かれて視察をした。

各班それぞれが興味を持ったブースや、後述の安全研修会での発表テーマに沿った製品を取り扱っているブースを見学した。

普段現場で取り扱っている資材とは違った新技術を利用した資材や新しいサービスを見ることができ、見聞を広げることができた。

(令和6年5月29日～5月31日 開催)



## 《安全研修》

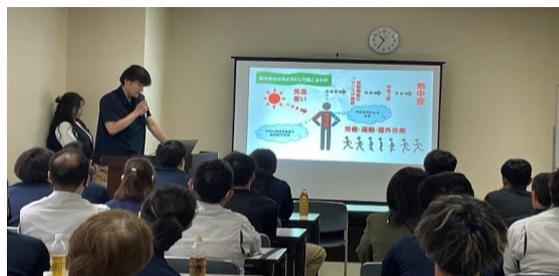
安全研修を定期的に行い、安全作業に努めている。

上期は新社屋の敷地内で昇降柱の注意点等の実技演習を行った。高所での作業は通常時以上にリスクを伴うため、現場での事故を防げるよう正しい昇降の仕方について指導した。

(令和5年12月8日 実施)

下期の第二部では長岡総合会館の会議室にて安全研修会を行った。(第一部は後述) 電設工業展で見てきた製品を、業務にどう活かすことができるか、安全に業務を行うために、今後どんな製品の利用が必要になってくるか等、いろいろな視点から製品についてのテーマに沿ったプレゼンを班ごとに行った。

テーマ ◇新技術について ◇安全について ◇作業改善について のうちから選ぶ  
(令和6年6月14日 実施)



## 5-4. 環境教育

### 《緊急事態一覧表 更新》

事務所移転に伴い、ハザードマップ等社内資料の更新をした。  
 また、危険生物に遭遇した時の対処法も周知した。  
 社内ネットワークにて緊急事態の対応について周知している。  
 また、現場作業で出かける社員が多い為、利用している施工管理アプリにも掲載し、どこにいても閲覧できるようになっている。  
 緊急時、社員がそれぞれ行動できるようにしていく。

《緊急事態一覧表》

《伊豆の国市ハザードマップ》



《消火器使用方法・配置図》



### 《社内ネットワーク 安否確認訓練》

訓練実施日：年4回配信(11月・2月・5月・8月)

訓練内容：① 社内で利用しているネットワークの「安否確認」を利用し、情報伝達送信・返信を行う  
 ② 情報受信に不備が生じた社員には、再設定を行ったうえで再送信し返信を行う

11月	ANDPAD お知らせ 配信時のみ 3時間以内の返信 85.7% 居場所記入率 88.6%
2月	ANDPAD お知らせ 配信時のみ 3時間以内の返信 85.3% 居場所記入率 88.2%
5月	ANDPAD お知らせ 配信時のみ 3時間以内の返信 91.4% 居場所記入率 100.0%
8月	ANDPAD お知らせ 配信時のみ 3時間以内の返信 73.0% 居場所記入率 100.0%

46期では居場所を記入する意識改善ができたが、目標であった3時間以内での返信については達成できなかった。

47期は緊急時の安否確認等について会社としての基準を改めて見直し、訓練等について手法等を再検討していく。  
 より効果的な安否確認ができるような手法を探っていく。

### 《クレーム対応》

41期よりクレームについて社内ルールを改め、報告・検証する体制となっている。  
 46期は、5件のクレームがあった。(いずれも施工に対するもの)  
 原因と対策を明確にして、同じようなクレームが再び発生しないようにしていく。

## 5-5. 環境活動

### 《浄化槽法定検査》

花坂本社・函南営業所ともに浄化槽法定検査を受けた。検査の数値等は「良好」だった。  
(令和6年5月28日 実施)



### 《エアコン点検》

花坂本社のエアコン点検はルームエアコンは2回、業務用エアコンは1回行った。  
(ルームエアコン 令和6年4月19日、6月27日 業務用エアコン 令和6年6月27日)  
業務用エアコンは高所のため、外注で清掃と一緒にいった。

函南営業所のエアコンの簡易点検を行った。  
(令和5年9月29日、12月22日、令和6年2月21日、6月28日 実施)  
4回とも異常は見つからなかった。



## 《消火器点検・訓練》

花坂本社・函南営業所の消火器の点検・訓練を行った。  
それぞれ2回とも異常や期限が近いものは見つからなかった。  
(花坂本社 令和6年2月2日、8月2日 函南営業所 令和6年2月2日、8月27日 実施)

消火器の使い方の訓練を行った。  
当社の敷地内で水消火器を利用した訓練を行った。  
(令和6年6月14日 実施)



## 6. 環境関連法規制の遵守状況

令和6年 8月31日評価  
 評価者:環境管理責任者 鈴木 紫

環境法規制等の名称	該当する設備・項目	法的要求事項の内容及び基準	遵守記録	評価
				○ 適正 △ 改善中
廃棄物処理法	金属くず・段ボール	産業廃棄物分別・保管基準の遵守	適正分別、保管場所、保管場所の表示	○
	廃プラスチック	産業廃棄物の収集・処理委託基準の遵守	処理委託契約書	○
	廃ガラス	産業廃棄物管理票による管理	マニフェスト管理・伝票保存	○
	蛍光灯・水銀灯	管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書 電子マニフェスト	○
資源有効利用促進法	小型充電式電池	登録業者による小型充電式電池の回収・再資源化	適正分別、適正処理、保管場所	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例		産業廃棄物処理委託業者の能力確認	処分業者への年一回実地確認記録作成と5年間の保存(委託先が優良認定業者であるときは免除)	○
伊豆の国市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物	一般廃棄物の分別排出	適正分別	○
建設リサイクル法 (元請けの場合)	建設副産物	建設副産物リサイクル計画書	請負契約書交付(工事施工計画書)	○
		再資源化完了報告書	実施(完了)報告	○
PCRリサイクル法	パソコン・モニター	OA機器の収集	OA機器の回収業者委託	○
家電リサイクル法	テレビ・冷蔵庫・家庭用エアコン・洗濯機	特定家庭用機器の適切な廃棄	家電リサイクル券の発行	○
自動車リサイクル法	自動車	使用済自動車の再資源化	リサイクル費用預託・リサイクル券受取	○
騒音規制法、振動規制法、静岡県生活環境の保全等に関する条例	特定建設作業	特定建設作業を行う際の届出	特定建設作業を行う際の届出提出、規制時間、作業日の厳守	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	業務用空調機	廃棄フロンの適切な処置 簡易点検の実施	フロン回収登録業者への委託 4半期に一回の点検	○
グリーン購入法	文房具・什器類	環境物品の購入推進	グリーンマーク付与の文房具購入推進	○
浄化槽法	浄化槽	保守点検の実施 水質検査	3ヶ月に1度 年1回	○
建設業法		建設業許可の届出	5年毎に更新	○
電気工事業の業務の適正化に関する法律		電気事業の運営	経済産業大臣の許可・工事基準の遵守	○
消防法	危険物	火災の予防	危険物取扱と火災予防対応	○

環境関連法規の遵守状況を確認したところ、違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘並びに利害関係者からの苦情・訴訟も過去3年間ありません。

## 7. 代表者による評価と見直し

	2024/10/31	評価者: 代表取締役 長澤 大
収集した資料	①エコアクション21システムの構築内容 ②評価機関のシステム運用状況 ③目標達成状況と活動計画実施状況	
評価内容	①環境経営システムが有効に機能しているか ②環境への取り組みは適切に実施しているか	
環境管理責任者の改善意見	今期は社屋移転があり、数値目標設定や活動の基礎となる部分を見直す機会があったものの、環境事務局である総務部で定期的にミーティングを行い、より良い環境経営につながるように既存取り組みをブラッシュアップしてきた。 すでに新たな取り組みについて協議も進んでいるので、より良い長沢電機を目指して引き続き取り組んでいく。	
社長の評価結果	前年に続き売上高が増加し、創業以来最高の完成工事高を計上することができた。営業部による大型物件の受注が継続的に進んでおり、若手社員の資格取得やスキルアップが今後の当社の発展において不可欠である。新社屋への移転で工具や備品の管理について、新しい手法の構築を課題としてもらいたい。 また、近年の自然災害の頻度や被害を鑑み、会社としての災害時の連絡システムや安否確認等の再検討が必要と感じる。判断基準や運用ルール等の整備を進めてもらいたい。	
変更の必要性の判断	①環境経営方針            必要 <input checked="" type="radio"/> 不要 ②環境経営目標・活動計画 <input checked="" type="radio"/> 必要    不要 ③実施体制                    必要 <input checked="" type="radio"/> 不要	[社長所見]  数値目標等の見直しを求めたい
環境管理責任者への指示事項	数値目標の見直しの検討と、新たな環境経営に繋がる取り組みの創出を求める。	